

改訂にあたって

この「せん妄診療実践マニュアル」は、2019年10月に初版を発行し、これまで多くの方からさまざまな反響をいただきました。この場をお借りして、深く御礼申し上げます。

初版の発行後、せん妄をめぐって大きな動きがあり、2020年度の診療報酬改定において、「せん妄ハイリスク患者ケア加算」が新設されました。この加算を契機に、各病院には組織としてせん妄の予防に取り組むことが求められるようになった一方、現場の医療者はきわめて多忙であるという実情を踏まえると、より効果的・効率的な介入が大きな課題と考えられます。

そこで、初版からまだ3年ほどしか経っておりませんが、この度「せん妄ハイリスク患者ケア加算」算定の流れに沿って、予防的介入のフローチャートを全面的に改編しました。また、特にご好評いただいていた「せん妄の薬物療法」の内容をより充実させ、新しい睡眠薬(オレキシン受容体拮抗薬)の使い分けなどについても、丁寧に解説しました。さらには、コラムの数を増やし、せん妄対策における重要なポイントを具体的に示したほか、応用編では新たな知見も踏まえて、十分な加筆を行いました。

このように、本書は初版にはなかった内容や構成となっており、全体的なアップデートのみならず、できるだけ多くの工夫やエッセンスを詰め込み、新しく生まれ変わったのが、この改訂新版の特徴です。

実臨床で効果的・効率的なせん妄対策を行うには、本書さえあれば十分と自負しています。せん妄対策にかかわる多くの方にとって、初版以上にお役立ていただけることを願ってやみません。

2022年9月

井上 真一郎